

(別紙様式)

(A3判横)

平成28年度 学校自己評価システムシート (県立鴻巣女子高等学校)

目指す学校像	(1) 自立した女性の育成 (2) スペシャリストの育成
--------	------------------------------

重点目標	1 学力向上と授業改善 2 主体的な進路実現を支援する指導の充実 3 特別活動と生徒指導の充実 4 開かれた学校づくりの推進
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	13名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	○「授業5原則」や「朝読書」等の成果により落ち着いた学習環境は整いつつある。今後は家庭学習時間の確保に努めるとともに、基礎・基本を大切に指導を徹底する。また、日常的な教員同士の学び合いを継続し、更なる改善を推進する。	(1) 学習環境の整備と学びの質の向上	①「CLEAN THE TABLE」「授業5原則」の徹底、「朝読書」の定着を通じて学習環境を整える。 ②完全下校時刻を徹底し、家庭での学習時間を確保する。 ③授業公開週間を設けるなど教員の学び合いを充実させる。 ④県の事業等を活用しアクティブラーニングに関する取組を進める。	①「授業5原則」にきちんと取り組む生徒の割合(85%以上) ②朝読書に積極的に取り組む生徒の割合(80%以上) ③授業改善を目指した教員同士の学び合いの実施 ④家庭学習を毎日する生徒の割合(60%以上)	学習環境の整備と学びの質の向上を概ね達成。 ①「授業5原則」にきちんと取り組む生徒の割合84.6%。 ②朝読書に積極的に取り組む生徒の割合72.1%。 ③協調学習に関する研修会を実施するとともに授業公開週間を設定。 ④家庭学習を毎日する生徒の割合45.7%。 普通科の一層の特色化を推進。 ①3年生選択科目における「鴻女ふれあい事業」などの特別授業の実施及び3年生芸術発表会の実施。 ②補習は年間112時間実施。家庭科技術検定合格者数はやや増加。 ③専門科目と資格取得の指導を充実。 ①保育技術検定1級合格率93%、三冠王の取得率88% ②資格取得に向け意欲的に取り組んでいる生徒の割合83.9% ③県の「実践的職業教育グローバル事業」や反転学習に関する調査研究事業等への参加	A
	○普通科の生徒が活躍する場が広がりつつあるが、さらに取組を進め、達成感を向上させるとともに、基礎学力定着に向け基礎・基本を徹底する必要がある。	(2) 普通科の一層の特色化と充実	①学校行事や地域との連携等で活躍の場を設定し、達成感や自己肯定感を向上させる。 ②補習や資格取得に向けた指導を充実させる。	①生徒の活躍の場の設定 ②補習時間の増加及び各種検定合格者の増加		B
	○専門学科では、指導内容の改善とともに、資格取得に向けた指導の充実を図っている。今後も専門科目の更なる充実と、高い検定合格者を維持する。	(3) 専門科目の充実と資格取得に向けた取組	①個別指導の充実を図り、検定合格率維持を目指す。 ②県の事業等に積極的に取り組むことにより専門性を一層深化させるとともに、指導法の改善を進める。	①家庭に関する技術検定各級の合格者と三冠王の割合 ②資格取得に向け意欲的に取り組んでいる生徒の割合(80%以上) ③県の事業への積極的参加と指導法改善への具体的取組		A
2	○将来自立した社会人として活躍できる進学指導・就職指導を行っている。引き続き学年に応じた取組を進めるとともに、早めの指導や情報提供を行い、進路意識を高めることが重要である。	(1) 進路意識の向上と進路実現	①進路の手引きを毎月計画的に活用させる。 ②進路行事を充実させ、校内外での説明会等へ積極的に参加させる。 ③1・2年生の進路意識を高める取組の充実	①進路の手引きの定期的な活用 ②進路意識を高めた生徒の割合(90%以上) ③進路未決定者の割合の減少	進路意識の向上は概ね達成。 ①各進路行事に合わせた進路の手引きの活用。 ②進路意識を高めた生徒の割合86.8% ③進路未決定者の割合は昨年と比べやや増加	B
	○特別活動に積極的に取り組む生徒が年々増加している。今後も生徒会と連携しながら、部活動や学校行事の一層の活性化を図る。	(1) 部活動や学校行事を通じた豊かな心の育成	①生徒会予算見直しを継続するとともに、各活動の活性化を図る。 ②各行事のアンケートをもとに、良い面を大切にしながら一層の工夫改善を図る。	①部活動に積極的に参加している生徒の割合(65%以上) ②各種大会等の実績向上 ③学校行事に積極的に参加している生徒の割合(90%以上)	豊かな心の育成に向けた取組推進。 ①部活動に積極的に参加している生徒の割合63.2% ②陸上・バレー・バドミントンの各々が県大会出場。 ③学校行事に積極的に参加している生徒の割合87.7% 基本的な生活習慣の確立を概ね達成。 ①挨拶をきちんとしている生徒の割合85.1% ②頭髪・服装がきちんとしている生徒の割合94.4% ③教育相談に関するアンケート項目の肯定的回答68.9%	A
3	○基本的な生活習慣は良い方向に改善してきている。挨拶の励行、頭髪・服装指導の徹底、身の周りの整理整頓を重点的に指導していく必要がある。あわせて教育相談体制の充実を図る。	(2) 基本的な生活習慣の指導の徹底	①学校全体で明るい挨拶を積極的に励行する。 ②指導の重点目標を定期的に設定し、指導の重点化を図る。 ③教育相談体制を確立する。	①挨拶をきちんとしている生徒の割合(90%以上) ②頭髪・服装がきちんとしている生徒の割合(95%以上) ③教育相談に関するアンケート項目の肯定的回答(70%以上)		B
	○PTAの会議や行事の参加者が年々増加し、PTAの各委員会活動も活性化してきている。生徒のよりよい成長のためにPTA活動の更なる充実を図る必要がある。	(1) PTA・教育後援会活動の一層の充実	①HPや一斉配信メールを活用したPTA活動の周知により各種行事への参加を呼びかける。 ②進路見学会・研修旅行・支部対抗ソフトバレーボール大会・研修会等PTA行事への参加を積極的に促す。	①PTA活動に関するHPや「一斉配信メール」の定期的活用。 ②PTA活動の充実と各行事参加者数の増加	活動の一層の充実を概ね達成。 ①PTA総会や研修旅行等の案内に一斉配信メールを活用。 ②生徒支援のためのPTA予算の積極的な活用や新たな講演会や研修会の実施。各行事参加者数は昨年並み。	B
4	○HPの更新を積極的に行うことにより、閲覧数も増加した。今後組織的な更新ができるようにする必要がある。また「一斉配信メール」の登録数を増やし、効果的に活用することが必要である。 ○昨年度小学校との交流を開始するなど、地域との連携を進めたが、さらに学校の魅力をより広く伝える必要がある。	(2) 地域と連携した学校づくりと情報発信の充実	①HP、学校説明会、鴻女体験入学、出前授業、地域のイベント参加、鴻女通信の発行、鴻女太陽杯等様々な機会を利用して学校の情報を発信する。 ②小中学校及び地域との連携や交流を積極的に行う。	①小中学校や地域との具体的な連携 ②HPのリアルタイムな更新 ③「一斉配信メール」の定期的な活用 ④学校説明会・体験入学等への参加者数の増加	地域連携と情報発信を充実。 ①小中学校との連携に加え、地域の見守り運動や地元自治会の行事等にも積極的に参加。 ②HPのリアルタイムな更新を実施。 ③生徒の安全等に関わる緊急連絡の配信や各月行事予定を定期配信。 ④学校説明会参加者数昨年比増。新たに「個別相談会」を設定。	A

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成29年 2月13日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・本校の学校自己評価システムシートは学校の姿がよくわかる内容となっている。 ・学校の現状に合った目標設定と評価指標となっている。成果も出ており学校評価シートとして適切である。 ・各学科の生徒が頑張っている姿がわかり、うれしく思う。一般の保護者の方にもっと生徒の活動や活躍が伝わるとよい。 ・平成29年度入学生の3年生選択科目の変更が普通科の充実や進路保障につながるよう期待したい。 ・保育実習では生徒はよく頑張っており、資格取得の状況を見ても専門学科の生徒はよく努力している。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・進路未決定者に対しては、ハローワークとの連携を図るなど、様々な形でフォローをしてもらいたい。 ・主体的な進路実現ができるよう、引き続き指導をお願いしたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動が充実している様子がわかる。その年の特色があってもよい。 ・服装や身だしなみが良くなってきており、地域の方からの評価もよくなってきている。 ・登下校の様子も良好である。 ・あいさつは人間関係や社会生活における基本中の基本であり、引き続き指導をお願いしたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・一斉配信メールは活用できている。 ・毎月の行事予定を配信する取組は、保護者にとって良い取組である。 ・生徒支援のためのPTA予算の積極的な活用については、保護者の方からも評価をいただいている。 ・学校から配布される手紙が保護者に伝わらないこともあり、ホームページや一斉配信メールを使って周知してくれるとよい。 ・生徒募集については、本校の素晴らしさをさらに広くPRすることが大切である。 	

